

Science Report of Kushiro City Museum

# 釧路市立博物館報

NO.425



2020.3

## 学芸の殿堂、博物館

今年、釧路湿原は、湿原の保全を求める国際条約、ラムサール条約に登録されて40年を迎えます。地域の人々が、全国に先駆けて、湿原の価値と役割をみとめ、その保全と賢明な利用に取り組んだ40年の蓄積です。

当時、全国各地の博物館では「博物館は、地域の学芸の殿堂であれ！」を合言葉に、活発な博物館活動を展開していました。釧路市立郷土博物館も「地域の自然、人文、社会、歴史、あらゆる分野について調査・研究を実施し、資料・情報を収集・保管し、その結果を地域に普及する」として、博物館活動を推進し、その一つとして釧路湿原総合調査を実施しました。数年に及ぶ調査結果を釧路湿原総合調査報告書にまとめ、その成果が、釧路湿原のラムサール条約登録をサポートしました。そして、博物館は、これらの成果を普及するために、釧路湿原を新しい釧路市立博物館展示のメインテーマとしました。多様で、特色ある湿原の自然と地域の人々の歩みが、あますところなく紹介され、その価値が広く理解され、1987年、釧路湿原は国立公園に指定されました。「地域の学芸の殿堂であれ！」と展開された博物館活動が実を結んだ賜物でした。

また、同じ頃、博物館学芸員をして、「学芸員は、学問の雑芸員であれ！」という先達の言葉が、折に触れて紹介されていました。「学芸員は、一つの専門分野の視点にとどまることなく、多様な、

多角的な分野の視点からのアプローチに励め！」というものでした。その視点は、植物を担当していた私が、川湯硫黄山のイソツツジ群落に、点々とハイマツが分布を広げるしくみに、生息するシマリスやホシガラスの働きがあることを気づききっかけになりました。また、湿原の特異な景観を構成するヤチボウズ群落、その上にしばしば降り立つクマゲラが、ヤチボウズがアリやくモなどの虫の大切なすみかになっていることを教えてくれました。ハンノキの立ち枯れの様子を調べている時、立ち枯れのはじめの頃にはシジュウカラやハシブトガラ、ゴジュウカラなどが飛来し、立ち枯れが進むとエゾコゲラやエゾアカゲラが登場するようように、訪れる野鳥が、立ち枯れの状態を知る手がかりになることも学びました。

「学芸員は、学問の雑芸員であれ！」の教えが、数年にわたる広大な釧路湿原の総合調査を推進し、その成果が「学芸の殿堂」である博物館の展示をとおして広く紹介され、ラムサール条約登録40年の歩みを支えてきたのだと思います。

今日、博物館を取り巻く環境は、ますます多様で、より広い分野に及んできています。条約登録50年に向けて「地域の学芸の殿堂」である博物館の役割が、いよいよ大きくなっていくと思います。

釧路国際ウェットランドセンター  
技術委員長 新庄 久志

### 3月号目次

|                              |       |    |
|------------------------------|-------|----|
| 鶴居村温根内産クモ類目録                 | 和田山優輔 | 3  |
| フロアトーク「歩く宝石」オサムシの魅力語る        | 松本 堅一 | 8  |
| 松本堅一氏よりオサムシ標本コレクション寄贈される     | 土屋 慶丞 | 9  |
| ハーバリウム霧多布と特別展「あなたの知らないスゲの世界」 | 加藤ゆき恵 | 10 |
| 博物館ニュース                      |       | 12 |

〈表紙写真〉 2017年、市内在住の寺本美久氏(故人)所蔵の角盆5点が、ご遺族によって当館に寄贈された。2020年1月18日から2月9日まで開催した「ニマ・ニイタ〜アイヌ盆の造形〜」では、この5点を初展示した。時代や制作地域についての詳細は不明だが、文様構成が美しく、彫りが丁寧な作品。表紙写真の資料には、植物をモチーフにした文様も描かれている。(収蔵番号55125) (城石 梨奈)

釧路市立博物館館報 No.425 2020年3月号 2020年(令和2年)3月31日発行

発行 釧路市立博物館 〒085-0822 釧路市春湖台1-7

☎ 0154-41-5809(博物館)・43-0739(埋蔵文化財調査センター)/ FAX 0154-42-6000

釧路市立博物館Web <http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

[museum@city.kushiro.lg.jp](mailto:museum@city.kushiro.lg.jp)(博物館) [maibun@city.kushiro.lg.jp](mailto:maibun@city.kushiro.lg.jp)(埋蔵文化財調査センター)

発行責任者 佐藤 志敦 編集 貞國 利夫・石川 孝織 印刷 (株)藤プリント